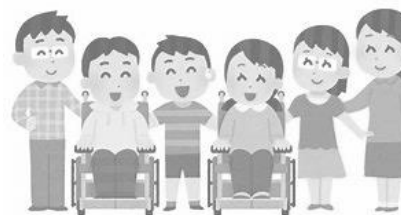


相模原市社会福祉事業団
経営計画
令和6年度～令和10年度

目 次

はじめに -----	1
I 計画の概要 -----	2
II 基本的な考え方 -----	5
III 重点プロジェクト-現状と課題に対する取組みと着地点-----	6
IV 着地点に向けたロードマップ -----	10
V 数値指標 -----	15



はじめに

相模原市社会福祉事業団(以下「事業団」という。)は、平成6年の設立から 30 年目を迎えました。事業団は相模原市と連携し、相模原市における社会福祉事業の推進を図り、広く市民福祉の向上と増進に寄与することを目的に設立され、その使命を果たしつつ運営を行って参りました。

現在では、相模原市立障害者支援センター松が丘園及びけやき体育館の指定管理者として多機能型事業所や基幹相談支援センター等の運営を、また、相模原障害者就業・生活支援センターなどの事業の受託及び、法人自主事業である生活介護施設銀河の運営など幅広い事業を行っております。これらの運営にあたっては、地域で生活する障害のある人や家族等の一人ひとりの思いや願いを大切にしながら、関係する機関とともに実施しております。

日本国内の状況は、少子高齢社会の進展に伴い、価値観や生活スタイルは多様化し、家族構成や働き方が変わり、障害者が住まう地域の課題は複雑化しています。現在、国では、子ども、高齢者、障害者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向け、住民が主体的に地域課題を把握して解決していく体制づくり、多種多様な専門機関が縦割りでなく包括的に協働できるような重層的な支援体制の整備が進められております。その中で、私たち事業団は、障害福祉に関する高い専門性を発揮するプロフェッショナル集団として、相模原市における障害福祉推進の中核的な役割を發揮していかなければなりません。

今回、こうした事業団の役割を十分に踏まえ、明確なビジョンの下に的確な法人運営を行いながら、事業をさらに効果的・計画的に進めるため、令和6年度から令和 10 年度までの「経営計画」を策定いたしました。

本計画は、「基本理念」「取り組みの姿勢」「重点プロジェクト」の3部構成となっており、令和6年度から令和 10 年度までの指針となるものでございます。

事業団は、本計画に基づき、職員一丸となって、法人の基本理念である「人にやさしいそして すべての人びとのための 社会づくり」を目指し、地域に貢献できる事業団として、積極的かつ果敢に将来を見据えた事業運営に努めていくとともに、これからも相模原市の政策パートナーとして求められる役割を果たし、関係団体等と連携を図りながら、相模原市の福祉の向上に寄与してまいります。

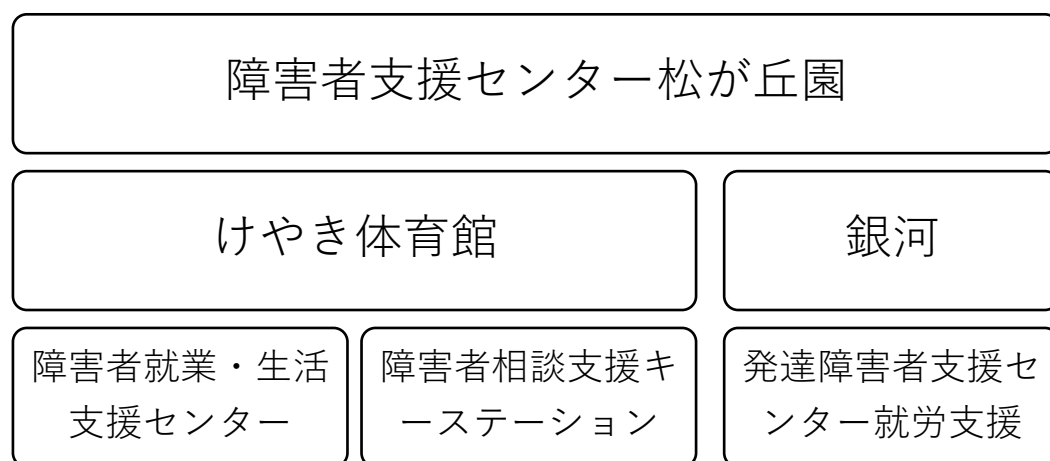
引き続き、皆様には、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

I 計画の概要

1 計画策定の趣旨

事業団は、地域の障害のある人のニーズに対応し、相模原市の政策パートナーとして、相模原市が策定する障害者プランに基づき、事業を展開し、役割を果たしてきました。

これまで事業団では、相模原市の障害福祉推進の中核的な組織としての位置づけの基に「相模原市立障害者支援センター松が丘園」及び「相模原市立けやき体育館」の指定管理業務を担うとともに、相模原市等から「障害者相談支援キーステーション」、「発達障害支援センター就労援助事業」「障害者就業・生活支援センター」等の障害者施策の重要な事業を受託しています。また、平成 27 年 4 月からは法人自主事業として、「銀河生活介護事業所」を運営するなど、事業を展開し安定的な法人運営を目指しています。



相模原市社会福祉事業団の主な事業

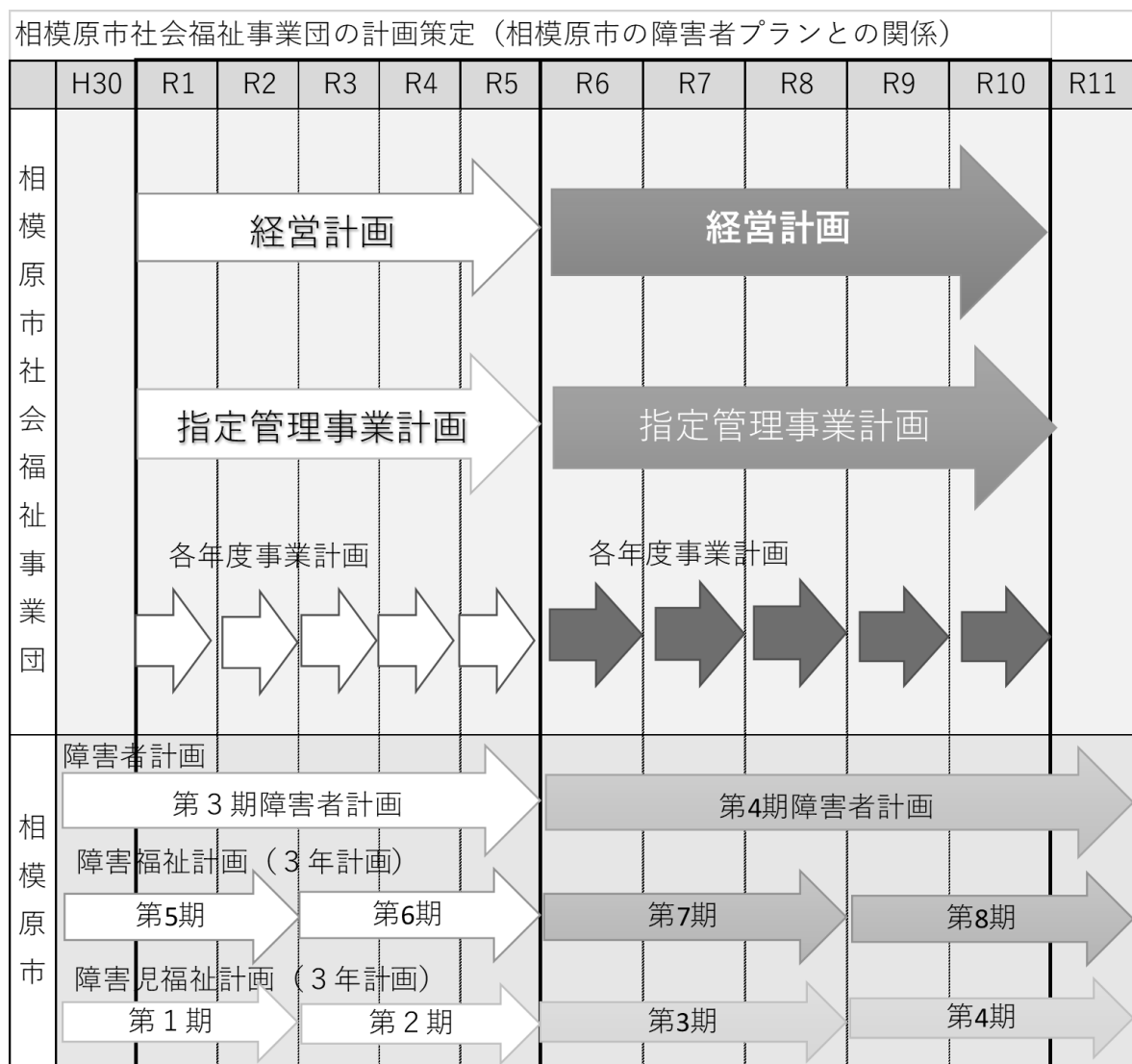
近年、障害のある人をめぐる課題としては、自立した生活に関連して更なる地域移行を求める動きや医療的ケアの必要な方の地域生活の支援、障害のある人の多様な働き方やその定着に向けた支援、より専門的な福祉人材の育成などがあげられます。このような課題に対して、事業団は、相模原市とともに、地域における障害のある人のより良い生活の実現に向けて、発展的に事業を実施していくことが求められています。

こうしたことから、事業団は、その役割・機能を十分に踏まえ、今後の事業を効果的、計画的に進めるため、本計画を策定します。

2 計画の位置づけ・期間

経営計画は、事業団の5年先の指標としての着地点を明確にし、具体的な取り組みを示すものと位置づけています。各年度に作成する事業計画は、経営計画で定めた着地点に向けて必要な行動方針を定めていきます。また、本計画と相模原市立障害者支援センター松が丘園及びけやき体育館の指定管理事業計画は連動して着地点に向けた取り組みを行っていきます。なお、本計画は、相模原市の第4期の障害者計画、第7、8期障害福祉計画、第3、4期障害児福祉計画の推進を考慮した計画としています。

計画の期間は、令和6年度～令和10年度の5年間です。



3 計画の構成

本計画の構成は、**基本理念** **取り組みの姿勢** **重点プロジェクト** の3つから構成しています。

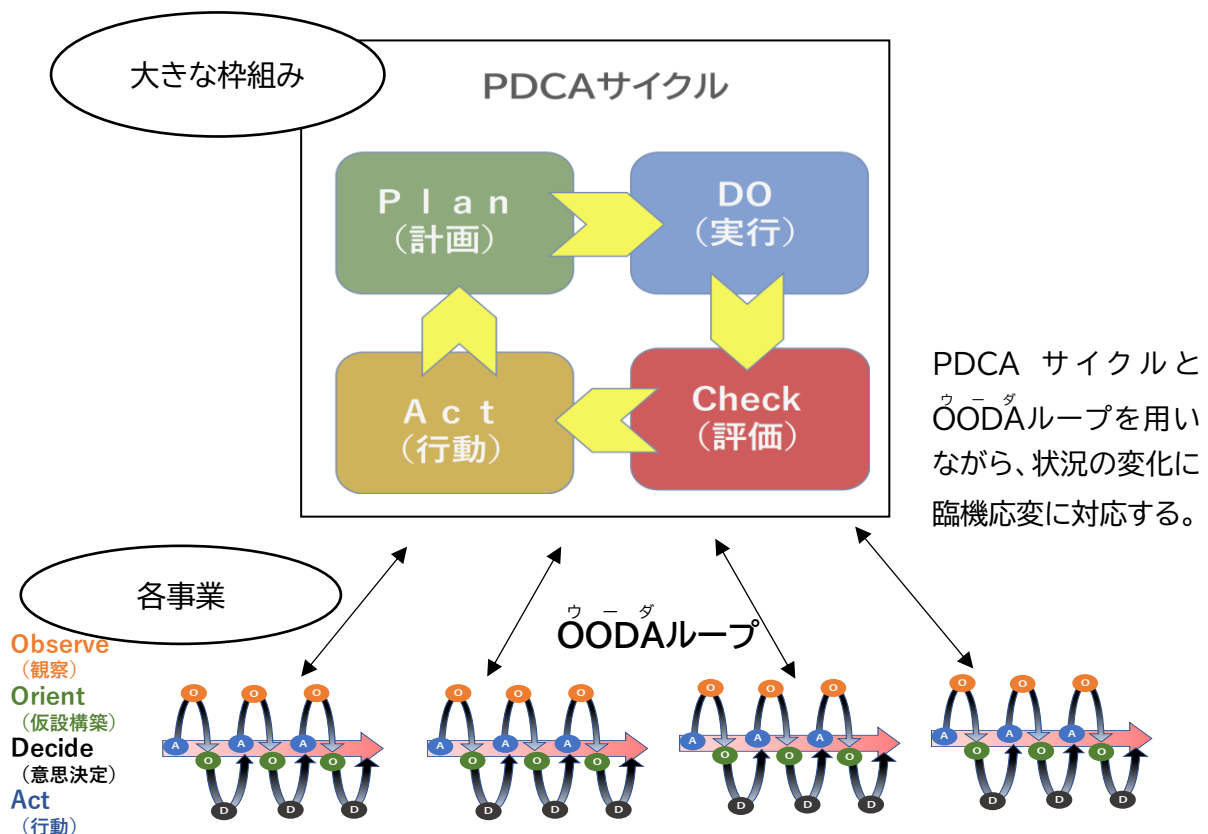
4 計画の進行管理

本計画の進行管理は、事業団内の意思決定・検討組織である「経営会議」及び「経営調整会議」において行い、その評価・検討は、理事会等で意見を聴くなど外部の意見を踏まえて行います。

また、本計画を円滑に進めるため、相模原市高齢・障害者福祉課や福祉基盤課等との連絡・調整を密にするとともに、関係団体・関係法人等との連携を図ります。

なお、計画の実施に当たっては、社会経済状況や福祉を取り巻く環境の変化にいち早く対応するため、計画を遂行する大きな枠組みのPDCAサイクルとともに、各事業の実施においては、より迅速に状況を観察し仮説を立て、その検証をしながら遂行する^{ウーダ}OODA^{ループ}を積極的に活用し、計画を遂行するための、細かな見直しを随時行いながら実施していきます。

※^{ウーダ}OODA^{ループ} Observe(観察)→ Orient (状況に対する適応・判断)→ Decide(意思 決定)→ Act(行動)の4つのステップで、刻一刻と変化する情勢の中で迅速性と柔軟性を備えた対応



Ⅱ 基本的な考え方

事業団は、相模原市における社会福祉事業の推進を図り、広く市民福祉の向上と増進に寄与することを目指し、法人の理念を掲げています。この理念の実現に向けて、本計画では、3つの取り組みの姿勢を示します。そして、5年間の中長期的な視点で、4つの重点プロジェクトに取り組んでいきます。

基本理念

人にやさしい そして すべての人びとのための 社会づくりをめざします

取り組みの姿勢

- 1 地域の中で“共にささえあい生きる社会”の実現に貢献します
- 2 相模原市の障害福祉ネットワークの中心的な役割を果たします
- 3 地域の障害福祉ニーズに即した新たな実践に挑戦します

重点プロジェクト

- 1 【暮らす】
“重度の障害がある方(医療的ケア含む)が希望する暮らし”の支援
- 2 【働く】障害のある人の“自分らしい多様な働き方”の支援
- 3 【育てる】地域で働く福祉人材の育成
- 4 【楽しむ】多様なニーズの余暇支援の充実

Ⅲ 重点プロジェクト-現状と課題、5年後の着地点とそのための取組み-

1 【暮らす】“重度の障害がある方(医療的ケア含む)が希望する暮らし”の支援

令和5年度の現状と課題

- 医療的ケアニーズの多様化
- 医療的ケアの必要な人の多様なニーズに応える社会資源の不足
- 重症心身障害児(者)への支援技術向上が求められている
- 入所施設や精神科病院等から地域生活に移行する取組みが進められている
- 高齢化による身体機能の低下などのため、これまで通りの生活が出来ない利用者が出てきている

令和10年度の着地点

- 医療的ケアの必要な人が利用できる活動の場の拡充
- 多機能型事業所生活介護事業の利用者が1日12名(定員)に増加
- 地域の支援者との協働による地域移行の取組みの充実
- 高齢化等により心身の状態に変化があっても自分らしい活動を継続

着地点にむけた5年間の取組み

- 多機能型事業所生活介護事業での医療的ケアが必要な方の受け入れ人数の拡大
- 医療的ケアの必要な人の受入れを進める事業所への指導看護師の派遣
- 医療的ケア児等コーディネーターによる相談支援や連携強化の推進
- 支援技術向上を目的とした研修の実施と関係機関との連携強化の推進
- 関係機関等と連携しながら、当事者、入所施設、精神科病院、相談支援事業所等へ働きかけ、精神障害者等の地域移行に向けた支援の推進
- 心身の状態に合わせた活動の提供や支援技術の獲得

2

【働く】障害のある人の“自分らしい多様な働き方”の支援

令和 5 年度の現状と課題

- 障害者の働き方の多様化
- 短時間で働きたいと望む人に対して働く場の不足
- 重度の障害のある人の社会参加としての働く場の不足
- 企業の障害者雇用の意欲の高まり
- 精神障害者の職場定着に向けた相談の増加

令和 10 年度の着地点

- 障害の状態に捉われない、自分らしい多様な働き方の実現
- 重度の障害のある人が生きがいをもって働く場の充足
- 障害者雇用受入れ企業の増加及び雇用率の向上

着地点にむけた5年間の取組み

- 障害者の多様な働き方のニーズ把握と採用企業等の開拓
- 短時間雇用への支援
- 精神障害就労者の定着支援、生活面等の相談強化
- 職場体験実習受入先の開拓
- 重度の障害のある人がはたらくことができる環境づくり
- 就労アセスメントツールを活用する職員の資質向上

3

【育てる】地域で働く福祉人材の育成

令和 5 年度の現状と課題

- 相談支援事業所を支援する取組みが求められている
- 市内従事者の強度行動障害支援者養成研修に係る講師及びファシリテーターの不足
- 強度行動障害支援者養成研修「実践編」の実施が求められている
- 地域で実施される障害理解に関する講座等へ職員を講師として派遣

令和 10 年度の着地点

- 相談支援事業所との協働による支援の充実
- 相談支援従事者研修ファシリテーターの増加
- 強度行動障害支援者養成研修の市内従事者の運営による、市全体の支援力の向上
- 強度行動障害支援者養成研修「実践編」の実施
- 職員の資質向上と併せ、地域の障害理解促進

着地点にむけた5年間の取組み

- 相談支援事業所への支援を推進するとともに、相談支援事業所を支援する人材の育成
- 強度行動障害支援者養成研修における、市内従事者による講師、ファシリテーターの育成
- 強度行動障害支援者養成研修「実践編」の実施に向けた準備
- 地域で実施される障害理解に関する講座等への講師派遣をさらに推進

4

【楽しむ】多様なニーズの余暇支援の充実

令和 5 年度の現状と課題

- 東京パラリンピックを機に地域のパラスポーツ普及が期待されている
- 市内障害児者数は増加傾向にあり、障害の状態に関わらず参加できる余暇活動の充実に期待されている
- 障害のある人の余暇活動の相談や潜在ニーズを受け止める場所が不足している

令和 10 年度の着地点

- パラスポーツの普及啓発とスポーツ、文化的レクリエーション事業の充実
- 地域、学校、企業と連携した講座やイベントによる施設利用者の増加
- 障害の状態に関わらず参加できる余暇活動の拡充
- (仮称)よかサポート事業(余暇に関する相談)による余暇活動の充実

着地点にむけた5年間の取組み

- 地域や学校にパラスポーツ指導員派遣による普及活動、パラスポーツ用具の貸出
- さがみはら SDGs パートナー企業の協力によるイベント主催
- 自宅や事業所でも楽しめる余暇活動への参加方法及び支援者を養成するレクリエーション研修の充実
- 施設利用、講座、イベント、サークル運営等の様々な余暇に関する相談事業の開始

Ⅳ 着地点に向けたロードマップ

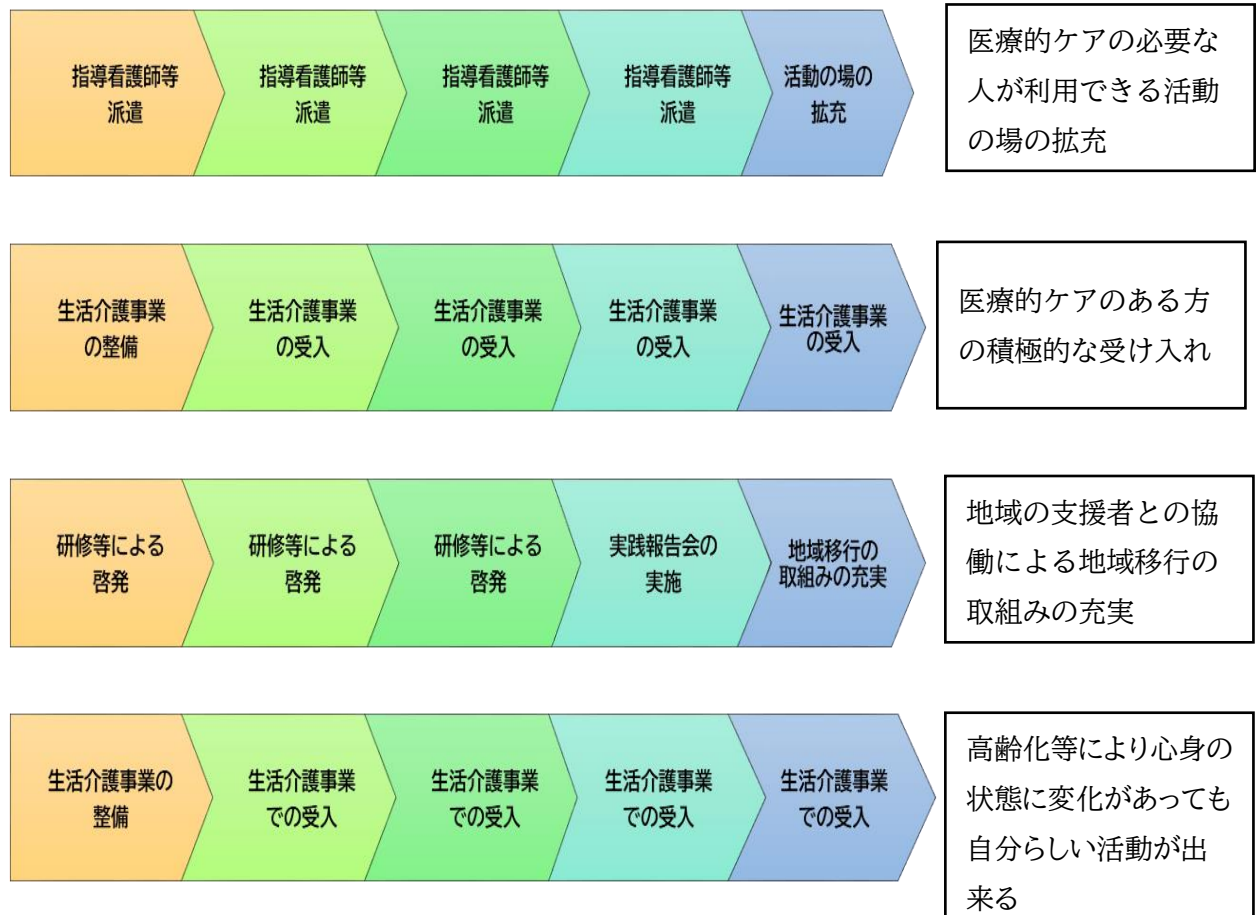
着地点にむけた各年度の取組みを表すロードマップです。下記の例のように、左側から右側に向けて令和6年度の取組みから各年度の取組みと進み、最終年度の令和10年度末に到達する着地点のイメージを示します。



1 【暮らす】“重度の障害がある方(医療的ケア含む)が希望する暮らし”の支援

これまで蓄積してきた重度の障害のある人への支援技術を活かし、今後さらに充実した地域での暮らしの実現に向けて、受け入れ事業所の拡充を図るとともに、支える支援者等のネットワーク構築を進めていきます。また、精神障害者等の地域移行に向けた支援を推進します。

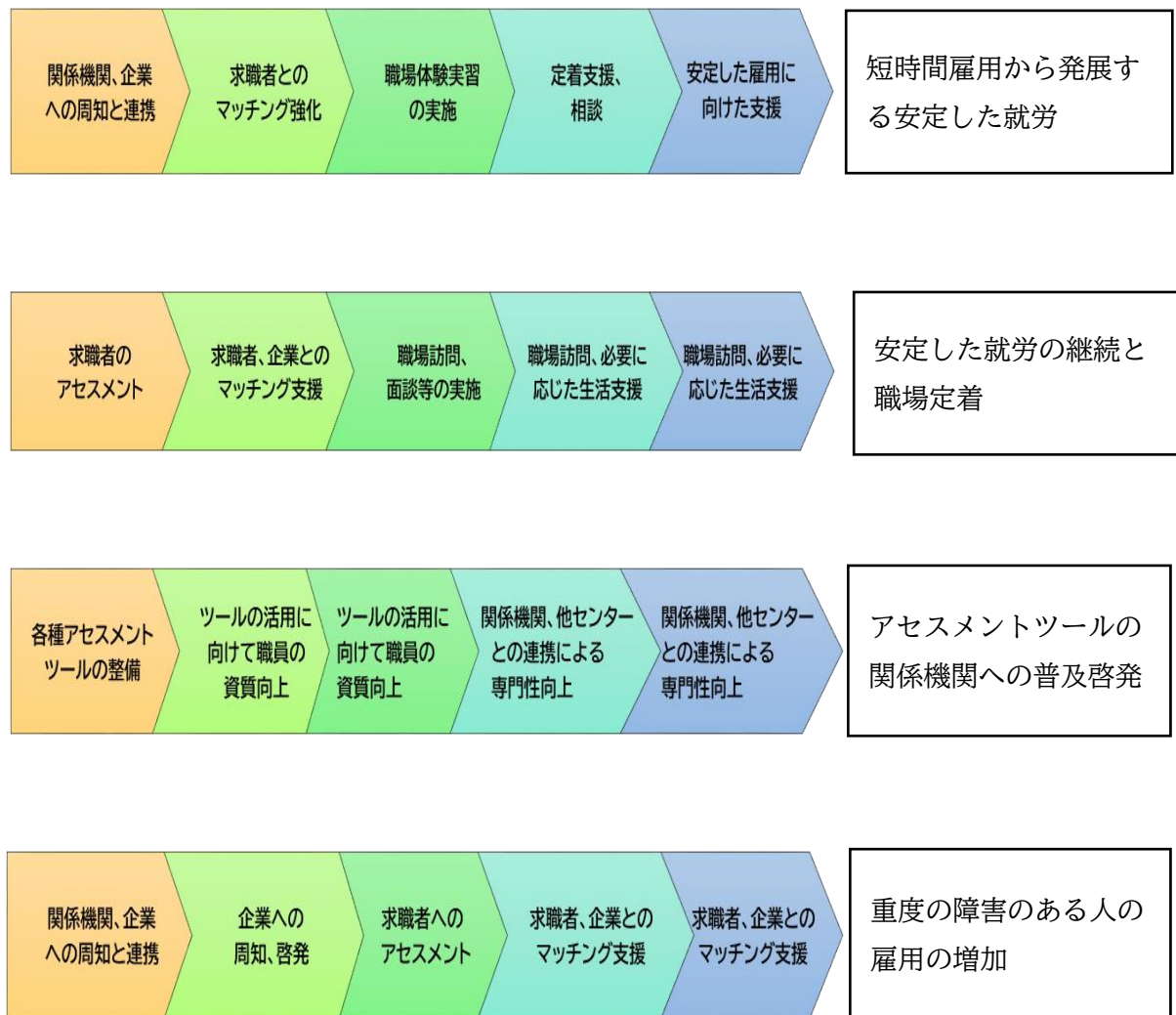
令和6年度～令和10年度までのロードマップ



2 【働く】障害のある人の“自分らしい多様な働き方”の支援

多様な生き方の広がりに伴い働き方も多様化する中、障害のある人もない人も地域で共に働く社会を目指します。障害のある人が希望する働き方で、個々に持てる力を発揮し、生き生きと活躍ができるよう支援し、関係機関と連携しながら、地域の支援力向上につながる取り組みを行います。

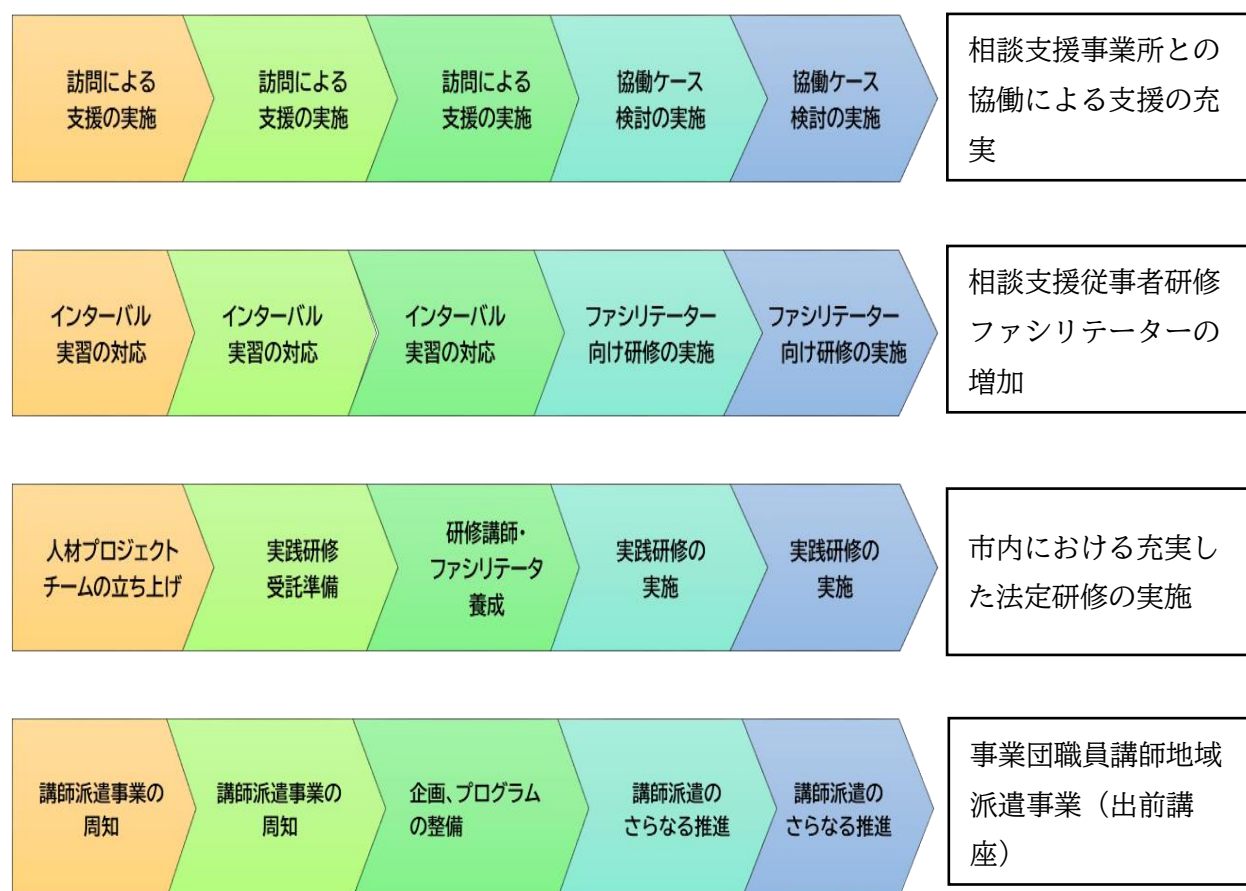
令和6年度～令和10年度までのロードマップ



3 【育てる】地域で働く福祉人材の育成

地域の中核的な機関として相模原市の支援力向上を図るため、高度な専門性を身につけた福祉人材を育成します。障害福祉の支援者として基礎的な倫理観や知識、技術を習得するとともに、日々の実践を積み重ねながら経験年数に応じてスキルアップできる法定研修や事業所の支援等を実施することにより福祉専門職を養成します。

令和6年度～令和10年度までのロードマップ



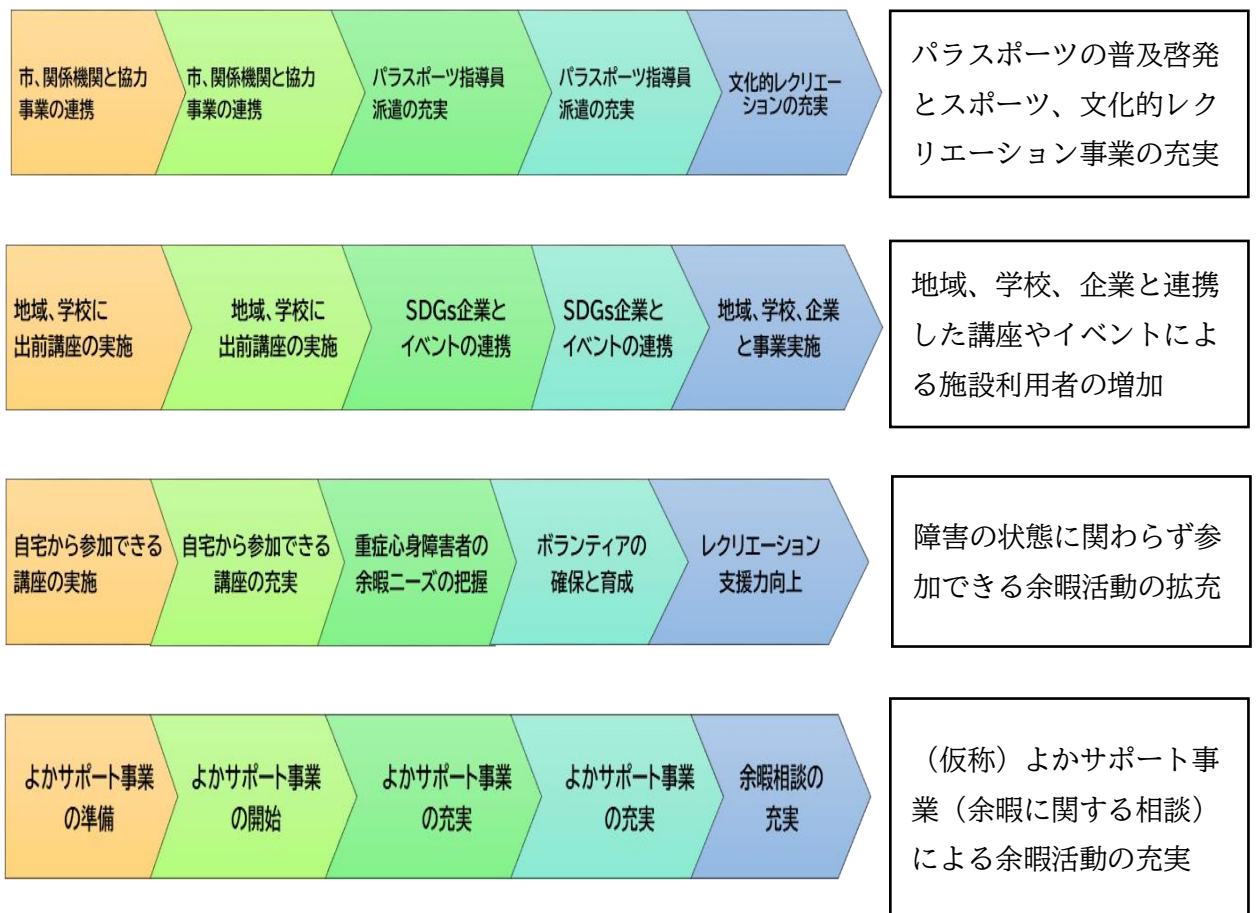
4

【楽しむ】多様なニーズの余暇支援の充実

障害への相互理解を深めるため、パラスポーツの普及及びスポーツ・文化的レクリエーションを充実させた講座やイベントを地域等と連携しながら展開していきます。

また、一人ひとりのニーズを受けとめ、障害にかかわらず、楽しく豊かな生活が送れるよう、今まで余暇へのつながりが難しかった方や、働く人にむけて、余暇につながる相談を受ける、“（仮称）よかサポート事業”を実施します。

令和6年度～令和10年度までのロードマップ

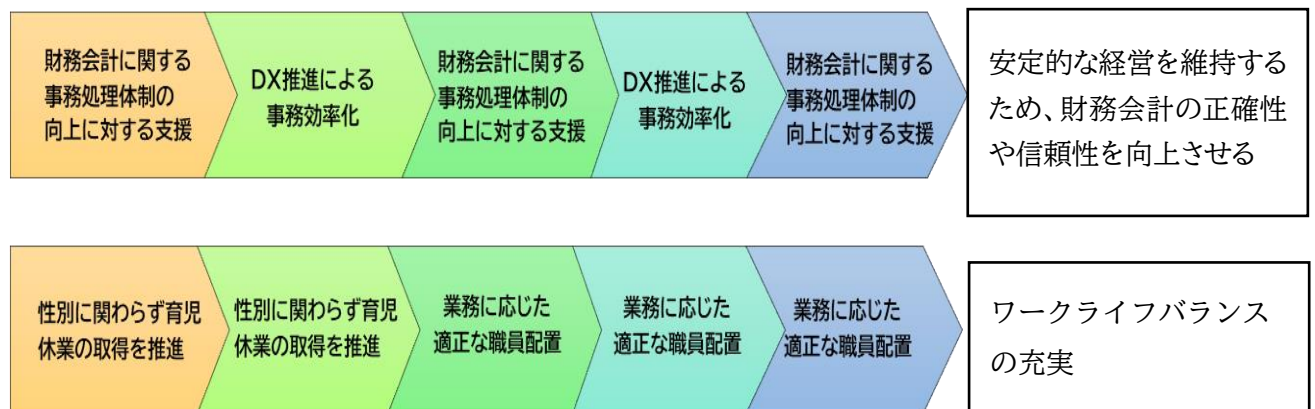


● 事業を下支えする法人全体としての取り組み

社会福祉法人の運営にあたっては、その公益性や地域社会への貢献などの視点から※ガバナンスと内部統制が求められています。ガバナンスと内部統制には、法人レベルと業務レベルがありますが、法人レベルでは、評議員会、理事会、監事などの法人の機関が、それぞれの役割と責任を明確にしながら、相互に規律し運営していきます。また、業務レベルでは、毎年の事業計画や予算の策定・実行・評価について、確実に実施していきます。将来にわたって、安定的な経営を維持するために、公認会計士による「財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援」を受け、財務会計に関する内部統制を行います。また、DXを推進し、財務会計を効率的に行う方法に取り組んでいきます。

さらに、働く職員にとって、魅力あふれる職場環境を整備するために、性別に関わらず育児休業を取得できる取組みや業務に応じた適正な職員配置の見直しなどを行い、事業団で働くすべての職員のワークライフバランスが充実し、心身ともに健康で、支援力を発揮できるように、取り組んでまいります。

このような取組みにより、適正な法人運営を確保し、地域からの信頼と期待に応えつつ、社会福祉法人としての存在価値を高め、安定した事業を運営していきます。



※ガバナンスとは、透明・公正かつ迅速・果斷な意思決定を行うための仕組みやルールのこと。内部統制は利用者・職員・地域社会等の立場を踏まえたうえで、適正かつ効果的な事業運営を行うための仕組みやルールのこと。

V 数値目標

指標1 障害のある人の“自分らしい多様な働き方”の支援

施設を利用し、就労する障害者が増えることにより、障害者の自立と社会参加が推進されるため、就労支援事業の利用登録者のうち、一般就労に結び付いた人数を成果指標とします。また、就労している障害者の職場への定着が維持されることにより、障害者の自立と社会参加が推進されるため、就労支援事業の利用登録者のうち、一般就労して5年以上定着している人数を成果指標とします。

年間就労者

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
指標	60人	60人	60人	60人	60人

就労定着者数

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
指標	425人	465人	505人	545人	585人

指標2 地域で働く福祉人材の育成

研修等の人材育成の取組みにより、質の高い福祉サービスの提供が図られるため、障害福祉サービス事業所職員向けに実施する研修において、障害福祉サービス事業所等従事者の受講者数(対象研修の総受講者数)及び研修受講定員に対する出席率(対象研修の平均値)を成果指標とします。

研修受講者総数

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
指標	1,500人	1,550人	1,600人	1,650人	1,700人

研修受講定員に対する出席率(平均値)

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
指標	85%	85%	85%	85%	85%

指標3 多様なニーズの余暇支援の充実

けやき体育館を利用する障害者が増えることにより、市内の障害者の健康の増進や教養文化活動の促進が図られるため、障害者の年間延利用者数を成果指標とします。

けやき体育館における障害者の年間延利用人数

年 度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
指標	20,000人	20,100人	20,200人	20,300人	20,400人

相模原市社会福祉事業団 主な業務一覧

	【社会福祉事業】	【公益事業】
障害者支援 センター 松が丘園	・障害者支援センター相談支援事業所 - 指定特定相談支援事業 - 指定一般相談支援事業 - 障害児相談支援事業 ・障害者支援センター多機能型事業所 - 生活介護(医療的ケア含む) - 自立訓練(生活訓練) - 就労移行支援 - 就労継続支援B型 - 就労定着支援	・地域障害者施設支援事業 ・障害者地域就労援助センター事業 ・障害者就業・生活支援センター事業 ・発達障害支援センター就労支援事業 ・基幹相談支援センター等事業 ・障害者相談支援キーステーション事業 ・手話通訳者等養成事業 ・障害者一時ケア事業 ・無料職業紹介事業 ・福祉研修センター事業 ・医療的ケア児等コーディネーター事業 ・かながわ医療的ケア児等支援センター事業
けやき 体育館		・けやき体育館管理・運営 ・障害者余暇活動支援事業
銀 河	・銀河生活介護事業所 ・銀河ガイドヘルプサービス事業所	
総 務	・法人本部運営 ・地域における公益的な取組 ・障害者支援センター管理事業	

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団の業務執行体制等について
(令和6年4月1日)

